

# SDGsバンブープロジェクト推進フォーラム

## 目的

- ・環境・社会・経済の好循環モデルの構築
- ・SDGs貢献型事業の普及、及び、本事業参画を通じたCSVやCSRに取り組む企業のサポート

## 活動計画

### ①主旨

荒廃放置竹林を伐採・加工・製品化・販売する事を通じSDGsの目標達成を目指す。その過程で【生物多様性保全、土砂災害対策、気候変動適応策、次世代育成・地域活性化】に貢献する。

### ②SDGs経営の人材育成の演習の場を目指す

本分科会の活動に参画する事で、活動内容とSDGs各ゴールとの相関や成果などを体感頂き、共同プレスリリースなどを行います。各企業様が策定される各種計画や経営ビジョンのヒントになることを目指します。

## メッセージ

SDGsの各ゴールに照らし活動しています。参画・協働いただく企業様にとってブランド価値向上となるよう内容拡充や広報力強化に努めます。

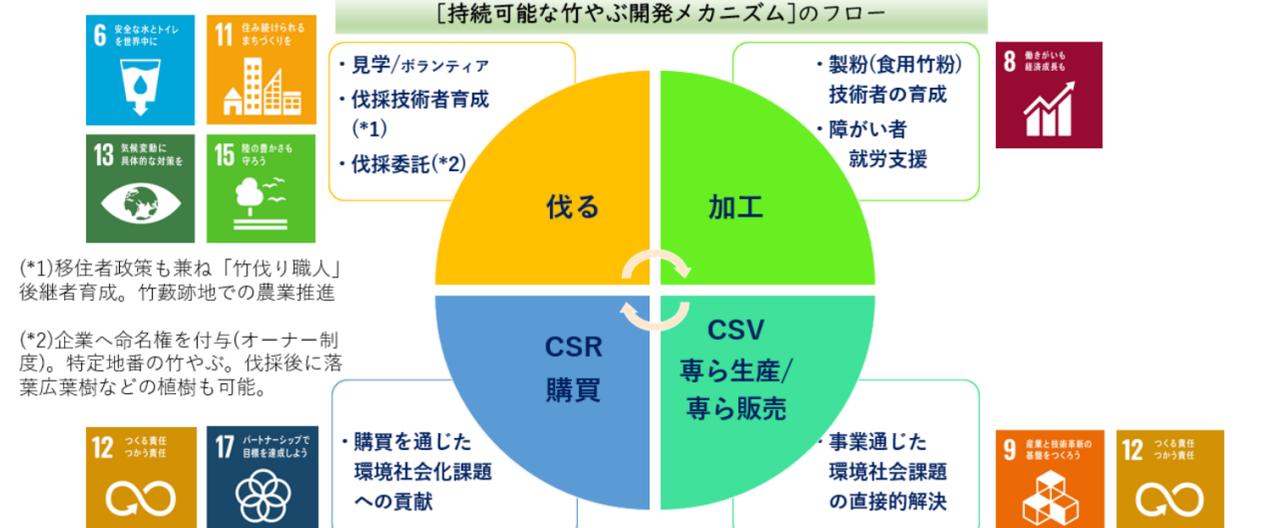
所属	一般社団法人九州循環共生協議会	担当者	山村 公人
電話	070-5415-2935		
MAIL	<a href="mailto:eco.yamamura@gmail.com">mailto:eco.yamamura@gmail.com</a>		
URL	<a href="https://sdgsbamboo.com/">https://sdgsbamboo.com/</a>		
所在地	839-0863 福岡県久留米市国分町1448-6		
メンバー	一般社団法人九州循環共生協議会・山村 公人（理事） 糸島コミュニティビジネス研究会・日高 栄治（主宰） 株式会社Ririhana・保坂 進（SDGs経営コンサルタント） 株式会社豆吉郎・石田 亮輔（代表取締役社長） クラウン製パン株式会社・松岡 寛樹（常務取締役） 障がい者支援センター ころろ・伊藤 憲昭（施設長）		

## 水源里山保全活動のフロー



## SDGsバンブープロジェクトの目標は、自律的な仕組み(メカニズム)を作る事。

BAU(Business as usual)で解決できない課題を、CDM(clean development mechanism)で解決「何も手を打たずに従来どおりの状況」(BAU)だと、外来種モウソウチクがもたらす環境社会課題は解決しません。クリーンな開発としての仕組み(CDM)が必要です。



活動のきっかけ・思い【平成29年7月九州北部豪雨】



地表約30cmで  
地下茎が集中



深根性の雑木  
にみられる  
「杭」の役割  
ない



土砂崩壊の危  
険性が高い

自らの経済の目標は、生物・社会が持続可能でなければ成立しません。  
だから、生物・社会の課題解決に資する事業と事業拡大を目指しています。

- ◇ 経済的理由で利用されなくなった外来種がモウソウチクです。地球温暖化の影響でその生息域は北上しています。環境社会にもたらす弊害(後述)への適応[#13]が必要です。
- ◇ 地表から30cm程に根が集中し、豪雨時には土砂と一体となって崩れ落ちます[#11]。莫大な復旧費用と河川・海洋環境や生き物に負荷(土砂) [#6]。
- ◇ 地下茎で浸食されたエリアの在来種は枯れます[#15]。数か月で20m以上急成長し日光を遮るからです。
- ◇ 多様性を失った土壌は地力がありません。多様な植物の成長素地(多様な生植物の残骸による豊富な栄養の土壌)が奪われ[#15]、水源涵養機能[#6]や地盤としての強靱さにも影響しています。
- ◇ [水源里山オーナー制度](詳しくはこちら)で伐採された竹を製品化(食用竹粉)します。里山地域に産業と障がい者を含む就労機会を創出します [#8,9]。
- ◇ SDGsに共鳴する消費者(法人/個人)向けに販促します[#12]。消費者と里山地域の懸け橋となる商品の開発生産する企業を募ります[#12]。
- ◇ 多様なステークホルダーによる協働です [#17]。  
→「生産者と消費者」「里山地域と都市部住民」など

サステナブルな経済活動(8/9/12)を通じた、  
生物圏(6/13/15)・社会圏(11)の各Goalへの貢献

